

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 2月 15日公開

トランプーネタニヤフ会談および聖書預言驚きの発展

エルサレムより、シャローム！私の後ろに見えているのは、旧市街の壁です。今回、とても素晴らしいニュースをお伝えできることにとてもワクワクしています。約一時間前に開かれた、トランプとネタニヤフの記者会見をご覧になった方は、今朝ワシントンで起こった歴史的出来事をすでに目撃したことでしょう。あちらで何が起こったのかをお伝えする前に、少しでもこれまでの背景をご説明します。まずは、ある事実からお話ししますと、約一年半前、イスラエルの首相はプーチンに会うために、はるばるモスクワまで飛ばなければなりませんでした。それはまさに、ロシアがシリアに侵攻したときで、それによって全世界が、ロシアがそこにいると言う事実を認めざるを得なくなったのです。そして、イスラエルはロシアと協力し合う以外、他に選択肢がありませんでした。ワシントンのオバマ政権からは冷たくあしらわれ、オバマとネタニヤフの間には、相互関係が一切ありませんでした。実際、ネタニヤフは、オバマよりもプーチンの方が、パートナーとして共に働きやすいと考えたのです。けれども現在、物事が劇的に変わりました。ご存じの通り、4週間前にドナルド・トランプが大統領に就任して、多くの事を成し、多くの事に取り組んでいます。その中でも、今日は歴史に残る日となりました。今日はイスラエルとロシアが、再び離別する日となったのです。今日、私たちが見たものは、おそらく過去12年間に行われたイスラエル首相のワシントンDC訪問の中で、最も温かい歓迎だったでしょう。そして今日、非常に大きなことが起こりました。トランプとネタニヤフとの間で、二つの重要な事がありました。しばらく、ロシアとイランは脇に置いて、お話しします。

まず、パレスチナとユダヤ人国家の二国解決案が唯一の選択肢だと言う考え方が、全面的に取り除かれたのです。トランプはずばり聞きました。「二国解決策には賛成なのか？」「二国、一国、何でも、両者にとってベストな方に賛成だ！」アメリカ大統領がこの言葉を言ったのは、過去40年、もしかしたら50年の歴史の中では初めてです。皆さんが理解しなければならないのは、二国解決策について話し合うのは、良いことです。しかし、そんなものは存在しないのです。二国解決策とは、1947年にすでに提示された案で、それ以来ずっとパレスチナのアラブ人自身によって拒絶されてきたのです。基本的に理由は一つ。彼らはユダヤ人国家を認めることを拒んでいるのです。今でもそうです。今現在のパレスチナ指導者のところへ行って、「イスラエル国をユダヤ人国家だと認識しますか？」と聞いてみてください。するとパレスチナのアラブ人たちはこう言うでしょう。「パレスチナはアラブ人国家だと認識するが、イスラエルはユダヤ人国家としてではなく、アラブ人とユダヤ人が混在する国家だと認識している。」言い換えれば、「お前のものは俺のもの、俺のものは俺のもの」ということなのです。そして、基本的に世界は耳を塞ぎ、目を覆って、それが成り立たないことを見ないようにしてきたのです。それは1947年に提示されたものの拒絶され、そこから独立戦争が本格的に始まりました。それから6日戦争後の1967年にも提示されましたが、それも受け入れられませんでした。1980年にも提示され、1990年にも提示されました。オスロ合意においても、あれはイスラエルの歴史の中で、最も恥ずべき一幕でしたが、絶対に彼らには受け入れられないものがあるのです。

今日、ここで皆さんに言うておきます。彼らの教科書にはイスラエルは存在しないのです。パレスチナが全て、西岸地域だけではなく、です。

ということで、初めてアメリカ大統領が「これが唯一の選択肢だ」とは言わず、彼は全く違った視点から状況全体を見たのです。そして、会見がネタニヤフ首相に移ると、彼がある意味で少し口を滑らせた言ったのは、「我々は、私たちの味方となっている複数のアラブ諸国と、地域の平和について協議する。それによって、どうにか地元のパレスチナ人たちと平和プロセスを推し進めることが出来るかもしれない。」聖書的には「パレスチナ国」などというものは有り得ない、と私は長年言い続けてきました。聖書を見れば、一つの場所に二つの国家が存在するなど言うことはあり得ません。ユダヤ人国家の中にアラブ人国家なんて、聖書の中にはありませんから。しかし、聖書の中にあるのは、戦争の結果、エルサレムが分断されるということです。過去にも、敵によってエルサレムが分断されたのを見ることができます。しかし平和の結果、土地が分断されるなどということは、今も昔も、聖書の中にはありません。あるのは戦争の結果だけで、これがまさに、預言者ヨエルを通して神が語られたことです。神が、これらの国々を裁かれる、というのです。何に対して裁くのですか？土地の分断と、イスラエルの民を傷つけたことに対してです。ですから、聖書的には、パレスチナとイスラエルの二国共存というのではありません。エゼキエルで主が語られたことは、「主が、ユダヤ人をこの地に連れ戻す。」そして、アモス書 9:15 では「もう、彼らがこの地から引き抜かれることはない」とあります。ですから、ユダヤ人がこの地に戻ってきたことは聖書にかなっていることですが、二国解決案は全く聖書的ではありません。

次に、エゼキエル 38 章に移りましょう。これは私たちの誰もが、今起こりつつあると思っていることです。その中で、実際軍事的にイスラエルを攻撃すると言われている敵を、皆さんも覚えておられるでしょう。トルコ、イラン、リビア、スーダン、それからもちろんロシアです。そこにサウジアラビアが入っていないのが、面白いと思いませんか？アンマン（ヨルダン）も湾岸諸国も入っていません。あの地域の、穏健スンニ派諸国が入っていないのです。恐らく皆さんはご存じないでしょうが、彼らはイスラエルと長い間親交があるのです。ただ、公にしたくないだけで、彼らはイスラエルとパレスチナの和平を待ち構えているのです。それが成立すれば、自分たちも便乗して「我々もイスラエルと和平を結びましょう」と言えるからです。それが今の時点で、トランプとネタニヤフが話し合っているのはある意味、地域和平を燃え立たせようとしていることです。パレスチナとだけではなく、サウジアラビアと湾岸諸国です。なぜそれが重要なのか？よく考えれば、穏健スンニ派諸国はどれ一つとして、エゼキエル 38 章でイスラエルを攻撃する国の中には出て来ないのです。出てくるとしたら、彼らはイスラエルを攻撃した国々に対して非難をするのです。アメリカとヨーロッパが非難するようにです。欧米諸国がなぜイスラエルを攻撃しないのかは分かります。しかし、サウジアラビアや他の穏健スンニ派諸国が？それもエジプトやヨルダンのような、すでにイスラエルと和平を結んでいる国ではなく？何がワクワクするかと言えば、イスラエルとパレスチナだけに注目しない案が初めて出されたことです。そこに注目しては、全く前に進まないのです。そして、彼らが今、行おうとしているのは、はるかに大きなことで、これは特筆すべき事です。

次に、元々オバマの冷淡な態度の為に、イスラエルがどんどんプーチンに近づいたと言いましたが、今現在、トランプ大統領がネタニヤフ首相を大歓迎し、この二人がお互いに多大な敬意を示し合うのを見て、プーチンもこの全てを見ていることについては、皆さんもお気づきでしょう。ですから今、アメリカとロシアの間に緊張感が高まっているのは偶然ではありません。当然、フリン長官の国家安全保障問題

担当大統領補佐官辞任の全貌も理解しておかなければいけないのは、アメリカからの諜報コミュニティーからのリークがあったからで、それが民主党の仕業である可能性は高く、そのことがトランプ陣営を苛立たせています。しかし、こちらに注目してください。アメリカーロシア間の緊張感がどんどん高まっています。昨日はトランプ陣営からロシアに対して、クリミア半島を立ち退き、ウクライナに返還するように、と口頭で明示がありました。オバマでも、あそこまではっきりとは言いませんでした。また面白いのがそれだけではなく、ロシアの戦艦がアメリカ海域ギリギリ、アメリカの情報機関内での全メッセージを探知できる距離にまで近づきました。アメリカが許可し得ない場所で、ロシアのクルーズミサイルが設置されたり、また別の場所でもロシアの戦闘機がアメリカの駆逐艦に接近飛行しました。皆さん、今現在の状況は実に明確です。トランプは、ロシアとヨーロッパのどちらかを選ばなくてはならず、ヨーロッパはプーチンが大暴れすることを非常に恐れています。そのために、トランプに立ち上がってもらい、プーチンではなく NATO をどうにか強化するようにと懇願しているのです。ということで、ここではロシアが戦闘態勢に入っているのが分かります。そして、イスラエルはアメリカとどんどん親交を深めており、それに伴ってまず最初に起こるのは、ロシアがイスラエルの敵と同盟を組むことです。

面白いと思いませんか？ ロシアとアメリカの緊張が確実に高まっているだけではなく、イランもトランプに対して非常にイライラしています。彼らは話し合ったり、脅迫したり、別のところでアメリカの利益に打撃を与えるために代理を送り始めました。例えば昨日は、連続自爆テロがバグダッドでありましたが、これは親アメリカ派のイラク政府に対する、シーア派の犯行です。何度も言いますが、イランは直接攻撃せず、間接的に攻撃しているのです。イランから資金提供を受けている、イエメンのフーシ派長官の一人が、ライブメッセージで伝えました。「我々は、イエメン領内に侵入する全てのアメリカの戦艦を攻撃する用意が出来ている」と。イランが国連安保理の制裁や規制を破っているのも、私たちにははっきりと見て取れます。しかし、トランプは基本的に、イランの「火遊び」を、オバマの様には容赦しません。そして、何が起きているのかと言うと、穏健派の湾岸諸国とサウジアラビアが、今まさにヨーロッパとアメリカの側に移行してきて、ロシアに残されたのはイラン、そして、すぐにトルコが入ることでしょう。トルコは完全に違う土壌にいるのです。トルコはヨーロッパに仲間入りすることを拒絶されたからです。

ということで皆さん、今現在私たちが目撃しているものは、ネタニヤフとプーチンの蜜月時代は終わりに差し掛かり、ネタニヤフとトランプの親密な関係が始まったばかりです。二国解決案は審議からはほぼ取り除かれ、現在、地域の平和が審議されているところです。エゼキエルの預言が、現在のように明確になり、ここまで近づいたのは初めてです。私は本当にエキサイトしています！ご覧ください。ここはエルサレム。あちらに見えるのはエルサレム旧市街の壁です。皆さんが見ているこの町は、何らかの形で地域平和のための「対価」を支払うことになります。なぜでしょう？ 記者会見を見た方はお気づきになったでしょう。トランプが米大使館のエルサレム移転について聞かれた時、彼は慎重に答えました。「我々はそれを望んでいるが、そう出来れば良いと思っているが、現在慎重に観察中です」これはすでに決断した人の言葉で、今はその時ではない、と言っているのです。皆さんもご存じの通り、イスラムにとって第三の聖地を「奪い」、ここは彼らのものではなく、ユダヤ人のものだと明確にして、それからイスラム国家に行って、彼らとの地域平和を求めても、それは不可能なのです。ですから大きな

可能性として、トランプとネタニヤフは、穏健派イスラム諸国との地域平和の為に、米大使館のエルサレムへの移転を「犠牲」にするのかもしれませんが。皆さんが理解すべきは、私たちに隣接しているエジプトやヨルダン、それから離れているサウジや湾岸諸国といった穏健派イスラム諸国は、彼ら自身も過激派イスラム諸国との間に問題を抱えているのです。そして現在、彼らに必要なのは、エルサレムに関して狂信的な信者の感情から来る暴動、反逆です。ということで、私の背後に見えるこの町は、現在用意されている地域の平和の為に、ある種犠牲となって対価を支払うことになるのです。

本当にワクワクします！そのことだけでも預言を成就させることになるのですから！誰もエルサレムには触れたくないのです。「エルサレムに触れる者はひどく傷を負う」とゼカリヤ書 12 章には書かれています。「エルサレムを、すべての国々の民にとって、重い石とする」と。ですから私は、アメリカ大使館がエルサレムに移動するとは思っていません。むしろ平和交渉の方に向かっていていると思います。そして、穏健派イスラム諸国がイスラエルと和平を結ぶ理由の一つは、実は過激派イスラムの登場なのです。彼らはそれを攻撃しなければならないことも、皆で一丸となって攻撃しなければならないことも理解しているのです。ご存じの通り、平和の君が来られるまで、中東に平和は来ないと私は信じています。それでも、私たちが理解しておくべき事は、私たちに与えられたエゼキエルの預言に明確に書かれた詳細です。イスラエルは安全で繁栄し、平和に暮らしている。そして、この地域平和は、ロシア、イラン、トルコ、スーダン、リビアが我々を攻撃する時の状況を作るには完璧な役割を果たすのです。事実、これだけの事を引き起こす原因に、イスラエルが非常にうまく行っていることもあるのです。

ということで、皆さんはこれらの事を見て、どうか励まされますように。私たちはものすごい時代に生きているのです。過去のオバマ政権は、アメリカとイスラエルとの関係が最悪で、物事が不確かでした。ロシアはイスラエルを攻撃すると言われているのに、どうしてイスラエルはこれほどロシアと親しくなるのか？など。でも、今私たちは目の前で物事が展開されていくのを見ています。ネタニヤフとプーチンとの親密さは、一時の目的のためだったのです。それもトランプの就任によって、終わりつつあります。イスラエルに関しては、トランプ以上に、我々と親しく、良い仕事の出来る人はいません。

次に皆さんに理解しておいてほしいのは、それに加えてシリア国内でも物凄い発展がありました。今はそれをお話しすることは出来ませんが、——アサド政権の完全崩壊と破滅が更に進みました。それに関しては、来週後半あたりには皆さんにお伝えすることが出来るかと思います。ということで、シリアの混乱はまだ続いています。それからロシアは、アメリカとの緊張が高まるにつれて、イスラエルからどんどん遠ざかり、イランと親密になっています。そして、ヨーロッパは、ロシアの大統領を大変恐れていて、ウクライナに関して、また NATO に関して、明確に宣言するようにトランプに懇願しています。今現在、これまでになかった程に近づいていることを、私たちは理解しなければなりません。

今、私が引率しているのは、バス 8 台分の 400 人です。と言ってもツアーではなく、政府関係者で、マイク・ハッカビー (Mike Huckabee : 元アーカンソー州知事、政治家、司会者、牧師) と奥様、ご子息、その他大勢です。皆さん、実に楽しんでおられて、残念ながら少し雨が降りましたが、ツアーには影響なく、全てを見学することができました。ともかく、皆さんにお伝えしたいのは、私たちはみな、ここで同

じ興奮を感じ、私たちが歴史的瞬間に生きていることを感じています。聖書預言の線路を、成就に向かって、どれほどのスピードで進んでいるのかを見て取って、私はとてもワクワクしています。イスラエルは祖国に戻りました。イスラエルはこれまでになかったほどに繁栄しています。今、イスラエルはホワイトハウスの最も親しい政権と共に働いています。そして、イスラエルには二つの事があります。イスラエルはアラブ諸国の殆どと、これまでで最も親しい関係にあり、イスラエルとシリアの国境付近に、イラン・トルコ・ロシアが来ています。ダマスカスは崩壊寸前、全てです。全ての事が崩壊して行っているのではなく、然るべき場所に収まりつつあるのです。

ですから、皆さんは元気を出してください。第一に、聖書は信頼でき、信憑性があり、正確です。なぜなら、聖書に書かれていることの全てが、——時には私たちの目には辻褄が合わないように思えることがあります——それは、私たちには全体像が見えていないからです。しかし、一歩下がって全体像を見た時、エゼキエルは今日の新聞よりもずっと正確です。それからもう一つ、皆さんを励ましたいのは、神が過去の預言を成就させ、現在も成就しつつあるのと同じように、この時代においてあなたの近い将来に行うと言われたすべての約束、預言も、主が成就されます。そのことから、私は皆さんを励ましたいのです。引き続き、言い続けるのです。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

ある人がこう言いました。

「アミール、携挙がそんなに近いなら、どうして『私たちが来てくださいと言うまで主は来ない』なんて言うんだ？」

違います、わたしが言っているのは、そういうことではありません。神は、私たちが「来てください。」と言うのを喜ばれるからです。「私たちが『来てください』と言うまで、主が来られない」というものではありません。私たちが「来てください」と言うまで、主が来られないのは、私たちに準備ができていないからです。私たちは準備をする必要があります。私たちの準備が出来ていれば、私たちは「来てください」と言い、そうすれば主は来られるのです。

9 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせているのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

(第2 ペテロ 3:9)

これが、私たちがまだここにいる唯一の理由ですよ！私には、教会がそれを理解していないように見えます。私たちには、私たちの役目、私たちの任務があるのです。このような時代において、城壁の見張り人として、花嫁として準備を整える、そして、

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

また、私の心に重くのしかかっていること、前回にも言いましたが、今回も言います。恐らく、いつもいつも言っていることだと思いますが、私が今目撃している中で、最大の攻撃は家族に対してです。家庭そのもの、結婚、子ども、家族、家族として主とともに歩む事…皆さんに言うておきます。今こそ、ヨシュア記 24 章でヨシュアが宣言したことを、私たちも宣言する時です。

15 私と私の家とは、主に仕える。

(ヨシュア記 24:15)

皆さんがどこでこれをご覧になっているか、どのようにして私たちを見つけたかを、私たちに伝える時、可能ならこれも宣言してください。口頭で、書いて、宣言して、何度も何度も継続してください。

15 私と私の家とは、主に仕える。

(ヨシュア記 24:15)

もう一つ言うておきますが、今現在起こっていることに対して、敵は激怒し、怒り狂っています。だから私たちは目を見張っていなければなりません。また私は、預言者エゼキエルが言った通り、見張り人は人々に警告を与えなければならないと思っています。これら全てを見ていながら、沈黙し続けることは出来ないでしょう。世界中で、こんなにも大きな展開を目撃しているのです。私たちの目の前で、全ての事が明らかになっていくのを見て、何もせずに黙っていられますか？エゼキエルが言ったように、見張り人が、それが何であれ危険の迫るのを見た時、彼の仕事は警告することです。そこで聞くか、聞かないかは、それぞれの責任です。でも、彼が人々に警告を与えず、彼らが死んだのなら、——もちろん、備えをしていなかったのだから、それも彼らの責任です——それでも彼らの血の責任は、見張り人の手にも問われるのです。と言っても、問題は血とか、私たちの手とかではなく、大事なものは任務。見張り人としての任務です。いつも言うように、ゴスペル（福音）とは、ゴス「ピル」（薬）です。私たちは、死にかけている世の中に、この薬を渡さなければなりません。そうすれば、死にかけていた私たちが生き返ったように、彼らも生きることが出来るのです。しかし、彼らがそれを飲むか飲まないかは、私たちの責任ではないのです。私たちは、彼らにそれを与えることは出来る。相手が飲むか飲まないかは、それは向こうの責任です。しかし、私たちの義務は、「ゴスピル」（福音）を渡すことです。そして、彼らが服用するようにと祈るのです。

皆さんの惜しみない援助に感謝します。若者をイスラエルに連れて行って、みことばを託して、大学や学校に戻って変化をもたらす者となるようにするための、ヤングアダルトツアーに献金しようと思われる方は是非、ご協力ください。神の恵みによって、10 人の若者を迎えることが可能になりました。日本から二人、フィリピンから二人、ヨーロッパから二人、それからアメリカ合衆国から二人、南アメリカから二人です。私のビジョンは、世界中から人々をイスラエルに呼んで、イスラエルを見せて、燃え上がらせて自国に帰すことです。私たちはもっともっとこれを行いたいと思っており、来年はさらに大きく行う予定です。どうか皆さん、お祈りと励ましとご支援をよろしく願います。それに対して、献金をご希望の方は、scholarshipfund@beholdisrael.orgまでご連絡ください。

もう一つ、凄いことに、アプリにさらに 100 件のダウンロードがあり、10 万件に達しました！そこで、10 万人目のアプリをダウンロードした方に、とても素晴らしいプレゼントをご用意いたしました！ただ、私がそうしたいと思ったのと、凄い数字だからです！それと、皆さんに感謝の気持ちを示したいからです。恐らく、もうすぐ私たちは Facebook から締め出されると思います。ですから、前にも言いましたが、Behold Israel の無料アプリを入手してください。もし、私たちが Facebook や You Tube から締め出された場合、これが唯一の交流の方法となります。また、You Tube でも Behold Israel をチャンネル登録してください。近い将来、もっと多くの情報を流します。皆さんにはそこでご覧いただけます。

それから、これまたワクワクするのが、世界中の実に多くの国から、たくさんの方が連絡をくださいます。イスラム諸国、ヒンドゥー教国家、それからもちろんクリスチャン国家、世界中の 200 ヶ国からです！それはもちろん、神が驚くことをされているからで、数字の話をしているのではありませんよ。拡散されている、という話です。神は、それぞれの国一つ一つに「バアル」に膝をかがめていない人「レムナント」を残しておられます。（書記注：第一列王記 19:18、ローマ 11:4 参照）さらに、時期と季節に気が付いて、見張り人になることに徹している人々もいます。そして、私が心底信じているのは、ミニストリーが大きくなるにつれ、さらに世界中でたくさんの人に影響を与えるようになるでしょう。何度も言いますが、これは名声や有名になるためではなく、神の業のため、収穫の準備が整っているため、我々の生きている時代、季節を、人々が理解するためです。皆さんにぜひお願いしたいのは、まず私が世界各地を訪れている間、私の事と、家に残る私の家族の為に祈りください。それからまた、あなたがこのミニストリーの一部となれるようにもお祈りください。皆さんの助けなしには、私たちは何もできなかったと思っています。でも、皆さんにも祈りだけでなく、もっとアクティブになっていただけたらと思っています。もしかしたら、あなたの国で、Behold Israel の代理として、あなたに出来ることがあるかもしれません。

2017 年のツアーは全て売り切れましたが、もうすぐ 2018 年の新しいツアー日程を発表します。イスラエルツアーだけではなく、二度目の方のためのツアーでは、ギリシャまで足を延ばして、アテネやコリントにも行きます。それから、私が皆さんの国へ行って、聖書預言を学ぶ聖書預言スタディツアーも、さらにたくさん計画しています。また、ペトラへ行って黙示録を学びます。敵がどのようにして はるかペトラの砂漠までユダヤ人をおいかけるのか、そして、キリストが私たちと戻って来られた時、神がどのようにして彼らを贖われるのかを見ます。

皆さん、ご視聴いただき、ありがとうございました！私たちは本当にエキサイティングな時代を生きています。まだまだお伝えしたいことはありますが、今はその時ではないので、今の時点でお伝えできることだけをシェアしました。それはシリアに関してですが、とにかく、皆さんに理解しておいてほしいのは、——ホワイトハウスで、歴史的に素晴らしいことが起こっているということ、現在イスラエル首相とアメリカ大統領との間で行われています。祈り続け、取り成し続け、これからも城壁の見張り人となりましょう。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

「来てください。」と言いましょ。もし、そう言えないとすれば、あなたに準備が出来ていないからでしよ。でも今こそ、主に立ち返る時です！今こそ、神との関係を正す時です。主に誉れと栄光を帰さないような生活を止めるときです。御父の業に励んでいるところを見てもらうには、今がその時です。私たちと時間を過ごして下さり、ありがとうございます。繰り返しますが、アプリをダウンロードしてください。あなたがもし、10万人目の方なら、とても素敵なプレゼントをお送りします！Behold Israel からニュースレターをご登録ください。ウェブサイトから登録できます。それから、私がツアーで行った先々で撮った写真が、インスタグラムでご覧いただけます。こちらもフォローしてください。現在同行している皆さんと、素晴らしい時間を過ごすことができ、良い写真がたくさん撮れました。オスカー・シンドラー（書記注：1908～1974 ドイツの実業家：ドイツにより強制収容所に収容されていたユダヤ人のうち、自身の工場で雇用していた1,200人を虐殺から救った）の墓も訪れ、追悼しました。それから、旧市街の別の場所にも行って、数時間前に墓の園において夕礼を捧げました。念のため言っておきますが、墓は空っぽです！

Thank you!

Shalom!

God bless you!

I love you!

From the city of Jerusalem!

God bless you all!!

Bye-bye!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジューAmir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO